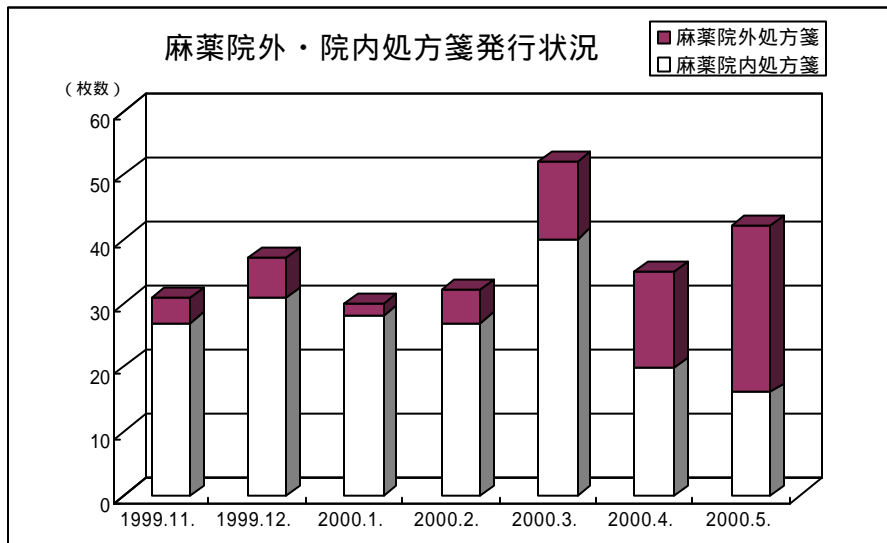


薬剤部だより No.125

山口大学病院薬剤部 2000.6.16

麻薬オーダの院外発行をお願いします

先月の麻薬処方せん院外発行率は61.9%で右グラフの通り、徐々に増加傾向を認めています。今後、院外薬局における情報提供(患者さんへの説明及び医師へのフィードバック)体制を整えていく予定ですので、麻薬処方せんの院外発行にご協力下さい。



麻薬オーダは時間外でも利用できます

麻薬オーダは時間外でも利用できます(利用時間はAM7:00～PM9:00)、施用者番号を覚えていなくてもオーダでき、また薬歴としてオーダに残せますので、ご活用下さい。ただし、処方日数は<休日分+1日分>をお願いします。

『薬品の取り扱いに注意を要する事例一覧』作成

『薬品の取り扱いに注意を要する事例一覧』が完成しました。間違えやすい薬剤(注射・内服・外用薬)の事例を取り上げています。病棟にも配布されていますのでぜひ一度目を通し、医療ミス防止に取り組んでいきましょう。なお、若干余分がありますので必要な方は薬務室(Tel 2667)まで。

例) ビソルボン - ラシックス - ホリゾン(アンプルの色、形状が類似している注射薬)
ランダ10mg - 10mL(10mg / 20mL)(mgとmLの単位を間違えやすい注射薬)

水溶性ヨード造影剤のテストアンブル添付が廃止になります

水溶性ヨード造影剤の予備テストに関しては、科学的信頼性がないことや、テスト量によっても重篤な副作用が発生する事例があり、日本医学放射線学会の勧告を受けテストアンブルの添付が廃止になりました。

対象薬剤(当院): イオメロン注、イオパミロン注、イソピスト注、ピリスコピン DIC50 注、ウログラフィン注、オプチレイ注、オムニパーク注、プロスコープ注
(イマジニール注は当初より添付していない)

注意事項 : ヨード造影剤投与にあたっては開始時より患者さんの状態を観察しながら過敏反応の発現に注意するなど、慎重に投与して下さい。

常備薬変更等に関するお知らせ

7月3日より『グラン注300 µg/1.2mL』から『グラン注M300 µg/0.7mL』に切り替わります。皮下投与を考慮し液量が少なくなった製剤です。

『テレパーク錠』販売中止に伴い、5月31日よりオーダ中止となりました。

『アクチム cap』販売中止に伴い、在庫が無くなり次第オーダ中止となります。

廃棄の問題等から、生食開栓型ビンがオーダ中止となります。代替品として生食開栓型プラボトルをご利用下さい。

バイアル瓶の不良により製造中止されていた『ファンギゾン注』が、6月19日から安全供給されます。

長期投与可能のお知らせ

6月1日より『デプロメール錠』『バイコール錠』『プロプレス錠』『リベンチル cap』『コレバイン錠・顆粒』が長期(30日)投与可能となりました。

平成13年度薬剤部研修生募集のお知らせ

下記の要領で平成13年度薬剤部研修生を募集します。

研修期間 : 平成13年 5月上旬から6ヵ月間

出願期間 : 平成12年 9月30日

試験日 : 平成12年10月23日

出願手続き等詳細は、副薬剤部長 石本(Tel 2672)までお問い合わせ下さい。